

# 會 報

第 20 号



滋賀県レイカディア大学同窓会

レイカディア大学校歌  
レイカディア讃歌

一、近江の最中 青き湖

ささなみ寄せる軽き音

いつまでも尽きることなき

その思い ともに学ばん

さわやかに レイカディア

レイカディア

わがレイカディア

二、青垣つらね鈴鹿比良

峰にたわむる白鳥の

いつまでも果つることなき

歓びを ともに遊ばん

うるわしく レイカディア

レイカディア

わがレイカディア

三、淡海映す蒼き空

宇宙が見せる深き貌

いつまでも消ゆることなき

その真実 ともに生きなん

かぎりなく レイカディア

レイカディア

わがレイカディア



目次

目標を持つ 夢を見よう

滋賀県レイカディア大学同窓会会長 門馬 三郎…………… 1

滋賀県レイカディア大学同窓会会報第二十号発刊に寄せて

滋賀県レイカディア大学学長 山田 新一…………… 2

平成十五年度の本部のあゆみ

滋賀県レイカディア大学同窓会事務局長 奥村常治郎…………… 4

平成十五年度事業計画…………… 7

平成十五年度予算…………… 8

功労者表彰・受賞の喜び…………… 9

米寿の方のひと言…………… 16

支部の動き…………… 21

グループ紹介…………… 30

新入会員の紹介…………… 39

平成15年度本部役員…………… 41

滋賀県レイカディア大学同窓会会則…………… 42

滋賀県レイカディア大学同窓会表彰規定…………… 45

物故者を悼む…………… 46

インターネットホームページ…………… 47

編集後記・編集委員…………… 48

表紙写真：

「美しい三島池に映える逆さ伊吹」 第11期 文芸学科 田中 茂氏 撮影

## 目的を持つとう 夢を見よう



滋賀県レイカディア大学同窓会

会長 門馬三郎

同窓会の活動が役員・会員の積極的な参加でますます充実・展開していること、ご同慶の至りに存じます。

本年九月十一日に第二四期生の卒業式が行われ一五四名が同窓会に入会されました。

近年の入会者は非常に多彩・多能な人々が多く「後に続くものを信ず」の言葉どおり非常に心強い事です。

我々会員の中で「老・壮」と区分することが出来る程の幅広い年齢層の構造になっています。

老年層の故事体験の歴史的継承は会の継続には必要ですが、会の活性化・新規の行動設営には壮年層の新しい感覚の注入や積極的な行動が望まれます。万事が改革を望まれる時代です。会も新しい発想の出現を待望しております。

年々伸びる寿命で永い高年期を有意義に過ごそうとは誰もが考えることです。大学卒業で一つの目的は達せられませんでした。これから、さらに単に生きることが目的では無く、更なる目的を持って生きようとするのが肝要です。

我々が昔の若いときの様にバラ色の夢を持つ事は難しいし、現在のこの国に住んでいる老人に新しい自己の目的を作るのは今の社会では困難です。それではいかに目的を作るかです。自分の人生の設計図は自分で描く事です。各自が考え、工夫することですが、例示として近所にも老人会・自治会・公民館・趣味の会等々の参加する場が有るように思います。身近に自分だけでも出来ることとして、環境に配慮して生活することも個々で行える社会貢献でしょう。

在学中に得た知識・技量を活用して社会活動をする等は卒業生の義務的なことになってきつつあります。

我々には社会のリーダーとしての活躍を望まれています。その為にも生涯学習をなし資質の向上を計らねばなりません。そしてその目的を達成する一つのスプリングボードとして「滋賀県レイカディア大学同窓会」が身近にあります。

各々個人が活動するにも県下の各支部や全県的な組織を活用できます。定期的な行事は多くの会員が楽しんで参加しており、さらに裾野の広がりを望んでいます。

新規的にも期別・科別・地域的なボランティア活動や、レイカディア振興部が開発した「レイカディア・シニア・サークル」や「びわこシニアネット」等々への参加も歓迎さ

れます。

同窓会の存在に「会が何をしてくれる？」と問うのではなく「会員が会のために何が出来るか」を考えるべきではないでしょうか。

同期生同窓会での人縁の不思議を計り知れなく思います。

厚い年齢層で利害関係の無い高令に成つての知己です。偉大な仕組み事業をしている人的組織だと感心します。

この機会を大事にして余裕ある高齢人生期をなおさら有意義に過ごすためにも同窓会の利用はあると思われれます。

夢(希望)を見よう、夢(目的)を持ちましょう

“明るく 楽しく 元気よく”



## 滋賀県レイカディア大学同窓会 会報第二十号の発刊に寄せて



滋賀県レイカディア大学

学長 山田 新一

滋賀県レイカディア大学同窓会会報第二十号の発刊にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

レイカディア大学は、昭和五三年に設置された「滋賀県老人大学校」が前身ですが、開校以来三、三〇〇名を超える多くの方が卒業され、県下各地において、地域活動やボランティア活動に活躍されていることに、大学を運営している者として大変心強く思っているところです。

レイカディア大学は、高齢の方がいつまでも元気で生きがいをもって暮らす、いいかえれば、自立的な生き方を創り出し、地域において、社会的な関わりを輪を広げていただくために、県下各地から意欲あふれる皆さんが学んでいます。

平成一五年度九月に総務省が発表した全国人口の九月一日現在の概算値は、六五歳以上の占める比率は一九・一％となっております。貴重な知識、経験を持つ高齢者は重要な社会構成員であり、住みよい地域社会、暮らしやすい世の中を築いていくために、高齢者が役割を担って積極的に活動することは益々大事なこととなっております。

レイカディア大学は、そうした役割を担えるようなカリキュラム編成はもとより、本年九月から「びわこシニアネット」を立ちあげ、シニアの交流の場として、ITを活用した仲間づくりや発信の場として利用していただいているところです。また、人材情報欄におきましては、同窓会の皆さんも是非、得意分野を登録していただき、地域での活動に資していきたいと考えております。

同窓会の皆さんには、今日まで培ってこられた豊富な知識や経験とともに、レイカディア大学での学びを生かして地域の活性化に寄与していただくことをご期待申し上げます。本年度より組織統合により大学を運営しております滋賀県社会福祉協議会も、皆様とともに明るい長寿社会「レイカディア」実現のため、役職員を上げて努力してまいりますので、今後とも声援、ご協力を賜りますようお願い申

し上げます。

最後になりましたが、同窓会運営にご尽力いただきました関係者の皆様に敬意を表しますとともに、同窓会の今後のますますの発展と、会員の皆さんがさらにお元気にご活躍されますことを祈念いたしまして、発刊に寄せてのご挨拶いたします。



# 平成十五年度の本部のあゆみ



滋賀県レイカディア大学同窓会

事務局長 奥村 常治郎

同窓会本部では、定期総会での議決に沿って、各専門部  
が取り組んできた事業を次のとおりお知らせします。

## 一、定期総会

五月十七日、総務部と甲賀支部の担当で、郡内の甲西文  
化ホールにおいて平成一  
五年度の本部定期総会を  
開催しました。

総会は、レイカディア  
大学学長代理ならびに開  
催地の町長さんなど多数  
の来賓と町の福祉バスで  
駆けつけた高島支部など  
各支部から二二五名の会  
員の出席を得て盛大な催  
となりました。



定期総会で挨拶をする門馬会長

議案に先駆け、

功労者表彰十名、

米寿慶祝が一八

名の方に授与さ

れました。

議事に移り提

案の議題は滞り

なく可決され、定刻には無事終了しました。なお、次のよ

うな提言があり、その後の常任理事会で、次のとおり対応

しました。

### 〔提言の要旨〕

一、米寿の慶祝は記念品だけでなく賞状を贈っては。

二、支部対抗試合の種目に「ゲートボール」を加えて

は。

### 〔提言に対する対応〕

一 について：お元気な日々が何よりの慶祝なので賞状で

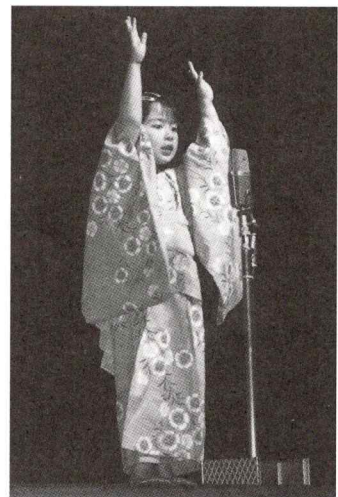
はなく、『会報』に顔写真と『健康につい

てのコメント』を添えて掲載する。

二 について：競技人口および審判員の点などで親睦交流

試合の種目には馴染にくい。

アトラクションは二部構成で、第一部の童謡では、『月



かわいい園児の独唱

の砂漠』を語りかけるような歌い振りに、学芸会の王子様とお姫様のあのシーンを思い出し、遠い昔へタイムスリップしたような気分になりました。また、五歳の園児の「むすんでひらいて」や『こいのぼり』をはっきり、物怖じすることもなく歌う様子になぜか目頭に熱いものを感じました。「総会の緊張をほぐしてくれた」と、担当支部の気の利いた企画に皆さん好評でした。

第二部は、『芭蕉さんに教えられること』と題して、甲西町の真宗大谷派正念寺住職、乾憲雄先生の講演。

俳人松尾芭蕉は、百五十日、六百里におよぶ『奥の細道』の旅の間も常に『感動』、『思いやり』の気持ちを持って句を詠んだそうです。その句を紹介しての話は、大変興味がありません。

俳句をたしなんでいる会員さんは、大変参考になったことと思います。

## 二、支部対抗グラウンドゴルフ

支部対抗グラウンドゴルフ大会は、総務部と湖北支部の担当で十月十四日、静かな湖北のほとり、「奥びわこスポーツの森」で開催しました。

当日はすっきりしない天気でしたが、この日を外すと十一



各支部代表選手が勢ぞろいしての開会式

月以降でないところの確保ができない、という事情もあり雨具持参の決行となりました。

谷あり溝ありの難コースと後半の途中から降り出した雨にもめげず、代表選手の手皆さんはよく奮闘し、十八ホールの競技を無事終了しました。

た。

閉会式は屋根つきの会場に移し、成績発表、表彰を行い、結果は別表のとおり。湖東支部が日頃の練習とチームワークの良さを発揮し、見事優勝の栄誉を獲得しました。地元、湖北支部は地の利を生かしての善戦でしたが、二位を分かち合うなど各チームとも悪コンディションのなかでの接戦でした。

本大会も五回目を向かえ、「会員相互の親睦」併せて健康の維持増進をとの思いも図られつつありますが、更に、競技運営上の反省も重ね、今後の糧にしたいと思います。湖北支部長をはじめ関係各位には、あいにくの雨にもかかわらず、準備運営にご苦勞をいただきましたことを感謝いたします。

成績表

順位	支部名	総計数
優勝	湖東	355
2位	守山・野洲	365
2位	湖北	365
敢闘賞	甲賀	377
5位	湖南	382
6位	中部	394
7位	近江八幡	395
7位	大津	395
9位	高島	406

### 三、教養講座の紹介

レイカディア振興財団との連携で開催してきた「成果展」や『体験発表会』が、県の事業の都合で中止になったため、研修部の活動も一時休止状態でした。その後、本部役員会で実現可能な施策について検討した結果、研修部の本年度の活動として、県下各市町が開催する『教養講座』のなか

で著名な講師の講演を、各支部を通じて会員に紹介することにしました。

いずれも知名度の高い講師ばかりで希望者が殺到しましたが、「生涯学習の場の提供」という点では好評を得たものと思います。

### 四、『会報』第二十号の発行

会報第二十号では、「会員・支部の参加と動き」をお知らせするという機関誌本来の使命により近づくために、広報部では、次の点に意を配った編集に努めました。

一、表紙は、写真愛好の会員の作品で、県の名所を掲載。  
二、「本部の動き」は、本部の全体像を知ってもらうために各部の活動を紹介。

三、「支部の動き」は、情報交換のより活性化を図るため紙面拡大。

四、会員相互の交流とより豊かな日々を送る指針として、活発に活動している「グループ・同好会の紹介」ページを新設。



## 五、平成十五年度事業計画

— 効果的な事業運営をめざして —

日 付			事業の概要
月	日	曜日	
4	15	火	第1回常任理事会（10時） 1. 議案書の最終審議 2. 総会最終確認
	15	火	第1回理事会（13時） 議案書の審議
5	1	木	総会議案書配布
	17	土	本部総会 於・甲西文化ホール 講演／乾 憲雄先生『芭蕉さんに教えられること』
6	10	火	第2回常任理事会（10時） 第2回理事会（13時） 1. 支部対抗グラウンドゴルフ大会の実施要領の確認 2. 会報20号の編集企画 3. 本部会費納入
8	11	月	地域（米原校）懇談会
	20	水	地域（草津校）懇談会
10	14	火	支部対抗グラウンドゴルフ大会 於・びわ町スポーツの森
12	25	木	会報第20号の発行
1	20	火	第3回常任理事会 1. 役員改選の関連協議 2. 16年度事業方針の策定 3. 会報第20号の反省
3	15	月	第4回常任理事会 1. 役員改選の確認 2. 16年度事業方針の決定

## 収入の部

単位：円

区 分	15年度予算額	14年度決算額	増 減	摘 要
会 費	1,288,000	1,794,500	▽506,500	@700×1,840名
雑 収 入	33,112	34,308	▽1,196	同窓会バッチ
繰 越 金	228,888	130,677	98,211	
合 計	1,550,000	1,959,485	▽409,485	

## 支出の部

単位：円

区 分	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要	
議 費	総 会 費	240,000	319,782	▽79,782	
	本部会議費	30,000	18,400	11,600	
	小 計	270,000	338,182	▽68,182	
事 務 費	旅 費	160,000	154,500	5,500	
	事務消耗品	10,000	7,567	2,433	
	印 刷 費	10,000	4,024	5,976	
	通 信 費	20,000	6,110	13,890	
	雑 費	10,000	0	10,000	
	小 計	210,000	172,201	37,799	
	慶 弔 費	310,000	269,637	40,363	慶祝110,000 弔慰200,000
事 業 費	総 務 部 費	120,000	119,273	727	
	研 修 部 費	30,000	0	30,000	
	広 報 部 費	500,000	286,204	213,796	
	小 計	650,000	405,477	244,523	
	支 部 活 動 費	0	545,100	▽545,100	
	予 備 費	110,000	0	110,000	
	合 計	1,550,000	1,730,597	▽180,597	

## 六、平成十五年予算

— 会費の値下げを盛り込んだ予算編成 —

# 功労賞表彰・受賞の喜び



## 世界大会の思い出

吉田 歳末  
大津支部  
第8期 文芸学科

ゲートボールが、全国的に一番盛んであった頃の、昭和62年9月12日と13日、神奈川県横浜スタジアムで、世界ゲートボール選手権大会が開かれ我々大津さなみチームが県代表として出場する事となり一行7名が元気に出発した。

外国チームはブラジル、ハワイ、台北、韓国、シンガポール等でなかなかにぎやかだが外国勢は少数で大半が日本チームである。

試合は1回戦2回戦は勝ったが3回戦の熊本に負けて、ハイ、それまでとなった。

夜は南京町を歩き廻って土産を買ったり、一杯ひっかけたり、行きも帰りにもぎやかな楽しい旅行であった。

今回は、はからずも功労賞をいただき感謝しています。今後も健康で好きなスポーツを楽しみたいと思います。

## 功労賞を受けて

中島 美也子  
(明治42年9月3日生)  
湖南支部  
第11期 陶芸学科



とても93歳とは思えないお元気で、得意の陶芸に精を出す中島さん。

この度は、はからずも功労賞を受賞しました。多くの対象の方々が居られるのに私が選ばれましたことを申し訳なく、心からお礼を申し上げます。

頂いた記念品の時計を前にして励まし、戒めております。

やがて満93歳になります。明治、大正、昭和を経て平成の今日、振り

返って見ますとさまざまな事が甦ってきますが、わたしは、過去にとらわれず、今を大切に生きて行きたいと思っています。今日1日を無事に過ごせたら、また、明日があります。

5人の子供を育てながら、喜びも哀しみも数々ありましたが、今は恵まれた健康に感謝しつつ、毎日大勢の方のご親切に生かされております。

生涯学習としては「女性教室の陶芸」、「やすらぎ教室」へと通っていますが、これも多くの方々のご親切に支えられてこそ続けられるものです。

陶芸教室での作品は、福祉の作業所の方達のバザーに使ってもらっています。ボランティア活動としては、縫い物の『なでしこ』、切手整理の『くるみ』の仲間に入れてもらって、ささやかながら人様への恩がえしをさせてもらっています。

二度とない人生です。悔いのない日々を送るよう努めていきたいと思っています。三度の食事も楽しくおいしく頂き、四季のうつろいに感動を覚え、『日々是好日』の生き方を願っております。



## 余花に逢う 再び逢ひし人のごと (高浜虚子)

北 心 知

甲賀支部

第17期 生活学科

平成6年9月に、レイカディア大学17期生（生活科学学科）として2年間学び、平成8年9月25日に卒業いたしました。

今回、去る5月17日、甲西町の甲西文化ホールで行なわれました、平成15年度滋賀県レイカディア大学同窓会本部総会において、会長門馬三郎様より、環境整備のボランティアとして表彰状を頂き、不肖、私にとっては至極光栄に存じております。

また、関係者各位のあたたかいご推薦の賜ものと深く感謝いたす次第でございます。

私達が利用する国、県、町のそれぞれの道路は生活に欠かせないものです。最近では、通学、通勤、散歩等の利用者が増すにつれ、飲み物の空き缶や、タバコの吸い殻がポイ捨てされているのが現状です。

常に温かい笑顔とアメニティ環境で観光客を受け入れる様、交通安全

に気を付けて頑張りますので、ご指導ご助言を賜わります様お願い致します。

ありがとうございました。

## 功労賞を受賞して

小嶋小石

甲賀支部

第2期 陶芸学科



梅雨季を迎え乍らも快い毎日でございます。

私、陶芸学科を卒業後続いて清々しい碧水荘に通い先生のご指導を頂き、時には褒られ、時には叱られ乍らも朗らかに精一杯土いじりに楽しんでおります。作品は時にはシルバー展に、又、文化祭の賑わいとして参加しております。

貴生川に老人のお楽しみ会があり、健康推進員と、ボランティアの方々のお世話で毎月1日に実施されています。これなら私にもお手伝い出来ると手作りの茶碗と抹茶を持ち年2回慰問しております、皆様楽しみにして下さいます。

尚、長年栄養三色運動で「よい食事作り」を地域の皆さんと共に学習しております。

此の度、思いがけなく表彰の栄に浴し、皆様方のご好意に感激し、感謝しております。

ありがとうございました。今後も趣味と共に生き、心して健康でありたいと願っております。



## 七つの蔵くらより子は宝

西川 甲三

近江八幡支部

第12期 陶芸学科

最近の新聞を見て思うことは犯罪の多発であります。特に犯罪が低年齢化と凶悪化していることでもあります。わずか12才の少年が幼児をビルの駐車場より突き落とした事件には心のいたむものがあります。

八幡地区の自治会に於いても以前より青少年の健全育成として、学校、父兄、地域社会が一体となって非行防止に取り組んでいますが、地域社会が青少年の健全な育成に対して何が出来るかと考える時、甚だ心もとないものがあります。

子供は親の背中を見て育つと言いますが子供のしつけ教育は、一にかかって親にあると思います。親の努力なくして地域社会が如何に力を尽しても到底及ぶものではありません。

以前（戦争中）子供は「国の宝」と言われていました。古い言葉と笑われるでしょうが、私は今もこの考えは変わりません。何故ならば、子供の良し悪しは国の将来（家庭の将来、地域の将来）を左右すると言っても過言ではないからであります。

「将来のある少年、考え方の未だ定まっていない少年を罪人にしてはならない」このことをもう一度皆で考えてみましょう。

親を含め地域社会が子供を粗末に扱っていないか？ 「七つの蔵より子は宝」であるという事を思い起こして、子供に接してほしいと願っています。

## 功労者表彰に浴して

藺 昭三

中部支部

第18期 園芸学科



第18期園芸学科を専攻、在学中知人のすすめで老人クラブの事務局に席を置きながら卒業いたしました。卒業後は学習の成果を地域に貢献することは同窓会憲章にもうたわれているとおりに地域老ク連創造推進員と

して7年が経過しております。その間老人クラブの信条であります「健康・友愛・奉仕」の理念に従い高齢者は常に健康を第一とし、その保持増進をもつことが生がいであると信じて、機会ある毎にスポーツを楽しむながら友との親睦友愛は勿論のこと社会への奉仕活動に積極参加できる喜びを提唱しております。心身の健康を培うため、若い頃からボールを追っかけることに興味を持っており、高齢者となつてからはゲートボールやゴルフ、グランドゴルフに力をいれ、特にゲートボールにおいては一級審判員の資格を取得、地域で初心者等の指導と交流の場（GB教室）で普及啓蒙に資しております。又、超高齢者（80才上）を対象にニュースポーツ（ユニカール、ビーンボーリング）研修会は屋内できることもあって且、柔軟なスポーツだと大いに喜ばれ目下その指導に取り組んでおります。誰もが寝たきりになればどんなに寂しい思いをするのか考えれば、一年でも長く参加できる喜びを味わってもらえればと願っております。

一方レイカディア大学の推奨に関連して、県本部の同窓会成果展中止に相俟って地域独自の成果展を文化の日に開催して多くの方々に鑑賞いただき、さすがレ大との絶賛をうけ先ずは成功であったと自負しております。会員50名を擁する地域でありその力作を毎年継続して開催することにしてはありますが、これも皆さんの協力のお陰と思っております。

最後になりましたが、受賞の喜びを忘れず今後も地域で頑張っていくますので、更なるご指導の程よろしくお願い致します。



## 功労賞受賞者のプロフィール

枝村 和次（大正8年11月15日生）

湖東支部

第12期 園芸学科

平成2年9月 レイカディア大学園芸学科卒業 12期生

平成4年4月 湖東支部常任委員 就任現在に至る

平成5年4月 同 犬上分会長 同

平成12年6月 レイ大OB会県調査部長2年

甲良町池寺老人会会長3年

甲良町老人会連合会会長2年

甲良町ゲートボール連盟会長約20年

滋賀県ゲートボール連盟常任理事6年

レイ大卒業後園芸学科で学んだ技術を生かし、正月前になると地域の人々に呼びかけて、松竹梅の寄せ植えを指導して喜ばれたので例年の行事としてきた。

行政改革の流れの中で、レイ大OB会の活動をどのように取り組むべきか、各支部の状況を調査部長として調査した。会員が魅力を感じる同窓会とするために各種の事業の提案をした。

その一環として総会の他に、会報の発行、一日旅行、成果展、新入会員歓迎会を開催することになった。郷土の史跡探訪については分会の輪番制として企画運営されている。

レイ大湖東支部役員として永年貢献されている。その他地域の老人会長やゲートボールの指導者として、老人の健康や交流にも寄与されている。写真は県ゲートボール連盟からの功労受賞の時。

(文責：湖東支部長 森野久章)

## 受賞者のプロフィール

山田 佐太郎

(大正14年7月10日生)

湖東支部

第15期 スポレク学科



- 平成6年9月 レイカディア大学スポレク学科卒業15期生
- 平成7年4月 湖東支部常任委員就任 現在に至る
- 平成13年4月 副支部長彦根分会長就任 同
- 平成12年6月 レイ大OB会県本部総務担当 同
- 平成7年4月 レクリエーションインストラクター資格取得
- 平成7年～ 特別養護老人ホーム、彦根市データーサービスなどで利用者の痴呆予防に体操、クラフト作業を指導(年十数回 ボランティア) 七夕、クリスマス、正月前の飾り物造り
- 平成13年～ 彦根地域数カ所において健康講座を開きフォークダンスやレクダンスの指導(毎月ボランティア)
- 平成5年 彦根市下石寺町老人クラブ会長に就任したのを契機



に会報の発行を始めた。以来地域老人クラブ会報の編集発行を担当し、現在127号に至る。

(文責：湖東支部長 森野久章)

## おかげさまで

田 中 茂

湖北支部

第11期 文芸学科



本年5月、平成15年度レイカディア大学同窓会本部総会で、私を功労者として表彰くださいましたことは、これひとえに皆様のご支援のおかげでありこの誌上をかり厚く御礼申し上げます。

さて、近江町には現在24名の会員がおられます。毎年一回以上、全員が参集し懇談研修の場をもつことにしています。

この席では、町内各種行事についての参加発表、町づくり行事、奉仕などについての談話に時のたつのをわすれる楽しい行事です。これも同窓会を通じ、社会の進展に即応する、高令者社会を生きる資質になるのではないのでしょうか。

なお、これからも老後を元気で奉仕の出来る日々をすごすため、参考までに、「か、き、く、け、こ」の精神で、

「か」 感動。関心と感謝の心を忘れずに。

「き」 興味と気。興味をもち、気力の充実をはかる。

「く」 工夫。頭の体操をする。創意工夫をこらす。

「け」 計画と健康。日々の計画を記入し、実践に努める。適度の運動。仲間との楽しい会話を。

「こ」 恋と好奇心。いくつになっても青春、衰えることのない好奇心を、おしゃれ心が、老醜を追放する。

これこそ、健康とぼけ防止の指標ではないのでしょうか。すべての生に感謝。

合掌

# 米寿の方のひと言

平成15年度の本部総会で『米寿』の慶祝を受けられた方たちをご披露し、みなさんのますますのご健勝をお祈りいたしたく思います。

なお、『米寿』を一昔前に迎えられ、お健やかな日々をお過ごし『百歳』の会員・北川弥一郎さんをご紹介します。

会員の鏡としてますますのご健勝を祈念いたします。

高野たみ

大津支部

第5期 文芸学科

主人惣平を亡くしてから9年目、息子夫婦と生活して居ます。よくしてくれますので、何とか過ごしていますが、足腰が痛くて、毎水曜に玉川医院の先生に往診してもらい右足膝に注射してもらっています。食事は3食共部屋に運んでくれますので有難く喜んでます。次にデーサービスに東老人福祉センターへ木曜日には自宅迄の送迎をして頂いて、ひと時の楽しみをさせて貰っています。

拙歌 車椅子の玄関迄の送迎を家族の見つむ笑顔に安らぐ

本郷武子

大津支部

第7期 生活学科



澄み切って、白雲ふわふわと浮かんでいる夜空を表で眺めるのが大好きです。空を仰ぎながら、昔をゆっくりと思い浮かべております。関東大地震の時は小学3年生でした。号外の鈴の音空地で大きな幕を張って活動写真で現地を見せてもらいました。珍しくて嬉しいでした。早50余年を送り、米寿のお婆さんに、でも元気に畑の草引き楽しんで居ります。私の一番楽しみはペタルを踏みスイスイと近江大橋を渡って西武へ行く時です。はるか明神岬の水平線を眺め橋昇坂をぐんぐんと下り坂スーッと走る時です。日本一の景色を毎日眺める私は元氣増々と一人いきごんで楽しい日を送っております。

## 米寿の方のひと言

吉田 歳末  
大津支部  
第8期 文芸学科



長年、大津絵の指導を行って居ります。会員は女性が多く、10年選手がほとんどです。毎年、大津市の行事（大津夏まつり）遊楽灯制作等々其他種々の展示会を行い手描きカレンダーも製作しています。



中井 茂  
湖南支部  
第5期 園芸学科

1. 日に3人以上の人と出会い、お話しをする。
2. 8時間以上の睡眠をとる。
3. 食事は1日3回、楽しく食べる。
4. 年1回の定期健康診断は必ず受け、常に身体の状態を知っておく。

瀬川 辰次  
湖南支部  
第13期 陶芸学科



思いがけない米寿のお祝誠に有り難うございました。  
病院のお世話になりながら何とか日々を送っています。くよくよしないように心懸け、定量を毎日楽しく食べるように努めています。

山 本 正 一

守山・野洲支部

第12期 文芸学科

- 忙しさを好日とせん菊日和
- 頬冠り定年の顔包みおり
- 世辞一つ言えぬ性なり葱坊主
- 乳母車声とどく距離草を取る
- 葉ボタンの目出度き渦を活けにけり
- 余生なお詩に生甲斐寒椿

お友達や俳句仲間と家族に見守られ乍ら語らう楽しい余生を送っています。

日 比 園 子

守山・野洲支部

第8期 生活学科



過去に病気をしましたがお陰様で10日程の入院ですみ、あと体力は弱くなりましたが、食事の好き嫌いもなく全部おいしく食べてます。特に風邪を引く事もなくおだやかな毎日を楽しく過ごしています。ありがとう。



小 林 栄

守山・野洲支部

第6期 園芸学科

いつの間にか米寿を迎える年になり、外地での7年8ヶ月の生活や若い時の多忙な時代を思い出しこれも神仏のご守護と、親、先祖のお陰と感謝し、隔日にゲートボールを楽しみ家族に見守られ乍らの毎日です。

## 米寿の方のひと言

西 中 勘 市  
近江八幡支部  
第8期 陶芸学科



健康法は、自分の体は自分で管理する。暴飲、暴食、寝不足は禁物。腹八分目医者いらずと言うが私は腹六分目です。食事は長時間よくかんで楽しんで美味しく食べる。

川原崎 幸 二  
中部支部  
第12期 園芸学科

菜食主義ですが、魚や肉と一緒に煮たものが好きです。  
酒もタバコも飲みません。

睡眠時間は8～9時間

長寿の秘訣は、常に節制を心掛け規則正しい生活習慣に努めている。

健康法はテレビの体操に合わせ毎日体を動かすようにしている。

飯 田 隆  
湖北支部  
第12期 園芸学科



好きな食べ物は、さしみ  
酒が好きです。1日二合位

睡眠時間は、8時間。

座右の銘は、うきことの尚此の上にすぐれかしかぎりある身の力ためさん

長寿の秘訣は、体操、畑仕事。

## 米寿の方のひと言



廣 田 麻次郎  
(大正5年9月26日)  
湖東支部  
第7期 文芸学科

食事の好き嫌いはなく脂っこい物より野菜食。酒・タバコは止めました。睡眠時間は8時間程度。一点集中主義。取り組んだことは責任と遂行。命拾いした自分の命を公に尽くすことで表彰状・感謝状多数。俳句俳画指導などが生甲斐。

小 川 福太郎  
(大正5年11月5日)  
湖東支部  
第9期 園芸学科



食事の好き嫌いはなく脂っこい物より野菜食。酒・タバコは止めました。睡眠時間は8時間程度。ビルマ戦線で9死1生総て喜び。感謝の生活。晴耕雨読の平凡な生活の中で、ジョギングは毎日の日課。1日8km平均、雨の日も続行中。

## 元気な100歳の会員さんです

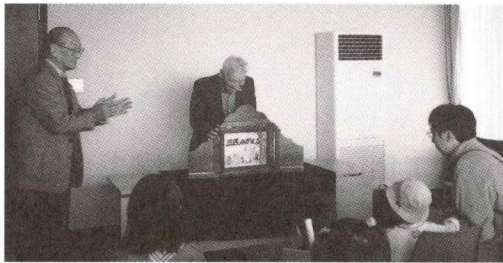


北 川 弥一郎  
(明治36年11月6日)  
湖東支部  
第3期 文芸学科

秦荘町出身。長浜農学校卒業後、現北朝鮮水源高等農業学校卒業し、その後、水源高等農業学校教員。恵まれた生活は戦後無一物で苦勞の末、郷里に帰還。

農業組合長・区長・村会議員・教育委員・老人クラブ会長など地域に奉仕。健勝の日々。

## 大津支部



紙芝居実演の風景

10月25日(土) びわこ大津館

大津市生涯フェスティバルが開催され、ボランティア・グループ手作り紙芝居「かえる座」の熱演活動を子供達に披露した。又ニュースポーツ・紙箱ペタンの紹介も併せて行った。

9月25日(木) 若狭・三方五湖の研修旅行

当日は生憎の雨であったが、総勢39名の参加者で若狭博の見学、車中からの三方五湖の眺め、車中での歓談、笑いの中に終日をすごした。

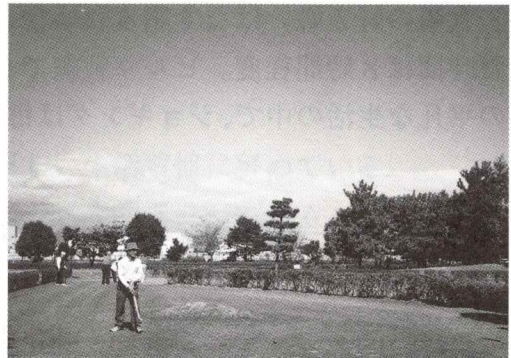
### グラウンドゴルフ大会

支部のグラウンドゴルフ大会を帰帆島にて開催した。

第1回9月4日(木) 参加者28名

第2回10月30日(木) 参加者32名

両日共、晴天に恵まれ、初心者を含め、のびのびとプレイ。支部会員の親睦の中に終了した。



第2回大会の一コマ



会場風景の一コマ

10月29日(水) 歓迎茶話会

大津市打出浜老人福祉センターにて第24期生入会者の歓迎茶話会を開催。当日は新入会員23名、支部役員19名の出席を得て、元気溢れる仲間が揃い、支部の発展を祝し、親睦の輪が広がることを期待して終了した。

### 湖南支部

#### 湖南・大津支部・『合同作品展』

14年度最後の行事、『支部作品展』は、レイカディア振興財団主催の「成果展」の中止を契機に、大津支部との合同の作品展を3月5日から3日間、母校で開催しました。

何れ劣らぬ力作で、在校生の登校日には大変な賑わいでした。

趣味を活かし充実した日々を過ごしている先輩達を羨望しながら、自身の卒業後の指針を見定めているようでもありました。

15年度は、「もう少し会場が広がったらなー」との声を汲み、両支部の実行委員さんが計画を練っています。



「合同作品展にしてよかったね」と言いながら作品に見入る会員さんたち

#### 市長との『今日はトーク』

当支部は、草津市と栗東市の在住者で構成する支部ですが、その栗東市の同窓会員は、昨年10月の選挙で当選した国松正一新市長の『市民主役のまちづくり』の推進に即応した形で、市長を囲んでの懇談会を申し入れしました。早速、快く受け入れられ、7月14日、市内の公民館で開催しました。

レイカディア大学で学んだ地域活動への積極的な参加や地域でのリーダーとして活躍が期待できる多くの会員の活動の場づくりについて、大学当局と行政が更に連携を深められるよう提言するなど大変有意義な話し合いが出来ました。



「市長を囲んでの懇談会」の後、市長（着席の右の人）との記念撮影



守山・野洲支部

1 支部総会 6月2日ホテル琵琶湖プラザ開催

- ① バス運行表を作成して会員さんの送迎
- ② 総会前に今年のもりやまバラ・ハーブ園見学。園内一杯にあふれた色とりどりの花が会員の目を楽しませてくれました。
- ③ 総会には門馬会長。支部会員45名と今迄の最高の出席
- ④ 懇親会は琵琶湖が一望できる14階。お互いの近況や思い出話に花が咲きカラオケもあって盛会でした。



もりやまバラ・ハーブ園の花を賞でる会員



支部総会のあとの懇親会

2 グループ活動

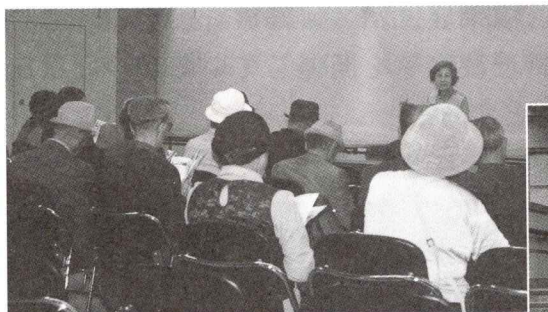
昨年から歩こう会年1回ゲートボール愛好会年1～2回グラウンドゴルフ愛好会毎月1回実施中です。



3 趣味の会 絵手紙教室開設

今年新たに23期陶芸小川康夫先生の協力を得て、10～12月、月1回開催。絵の先入観・上塗り・上手は駄目、ありのまま描く、白地は残す、下手は歓迎で楽しい教室にしたいと先生の話。会費は実費。

### 甲賀支部



徳川美術館で説明を聞く会員



同館前での記念写真

#### 第二回 親睦研修旅行の実施

10月7日(火) (晴)、7時15分石部町出発、甲西町—水口町—信楽町—甲南町—甲賀町と順次健やかな同窓会員の笑顔に乗せて滋賀観光バスは走る。

明治44年生まれの小嶋さんを筆頭に、本年入会の会員2名と合わせて29名の同窓会員が勢揃いした。

先ず熱田神宮へ参拝し、旅行の安全と同窓会員並に各ご家族のご健勝を祈り、レイカディア大学同窓会の益々の発展を祈願して清らかな身心で名古屋城へ向かった。

「尾張名古屋は城で持つ」と謂われる如く、さすがに雄姿だった。天高き青空に聳える天守閣は圧観であった。7階までエレベーターで上り、各階の歴史、文化、美術の数々を鑑賞しながら1階へと降りる。江戸時代の城下町の佇まいは参考になった。

東山ガーデンで名物のきしめんを頬張りながら、天下国家を論じ、身近な環境の話等に興じて親睦を深めた。

午後は最後の目的である徳川美術館の見学である。昭和10年に創館されて、400年の歴史文化を1万数千点の美術遺品で飾られていて、国宝、重要文化財等々に足を留められ、帰りの時刻を忘れる位であった。

帰りのバスの中は満足した面持ちでレイカディア賛歌を謳歌してお互いの充実感を確かめ合った。

## 近江八幡支部

近江八幡支部は年間の行事として、成果展、バス研修旅行、会報、GG大会、研修並びに健康講座、手芸、料理教室等を開催しているが今回は研修並びに健康講座について述べることにする。

### 研修講座（歴史講演会）

参加人数 60名

7月11日

ひまわり館ホールにて開催

演題「芭蕉さんに教えられること」

講師 甲西町正念寺住職

乾 憲雄先生

当日は会員始め、家族、知人の方々も来場され、聞き覚えのあるの俳句を詳しく資料により解説され、日頃の余談も話されるなど聴衆者と大いに感銘を受け大変好評でした。



乾先生の話に熱心に聞く参加者

### 健康講座

参加人数 40名

10月10日 ひまわり館大ホールにて開催

演題 体力づくり「ウォーキング」と新近江八幡市民病院建設についての内容説明について

講師 近江八幡市体育指導委員会会長 田中 好先生

近江八幡市民病院建設担当理事 土田先生他2名

始めに軽いストレッチ体操を行ない、ウォーキングの方法の説明指導後、3キロのウォーキングを実施、その後新病院関係のビデオ観賞、上田理事さんより内容等について詳細に説明を受け、質疑応答を行ない終了した。高令者には今後の人生に大いに参考になり好評でした。



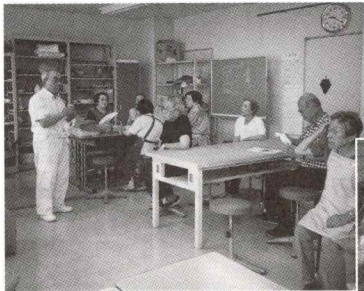
近江八幡市体育指導員のウォーキングの話に聞く参加者

## 中部支部

地域により密着した同窓会活動を目指して発足した「安土分会」は、自称「大学院」と称して回を重ねるごとに、その内容も充実し、楽しさも倍増して参加者にも喜ばれています。

5科目の必須の他に中部支部の行事、町内の「老ク連」への参加、更に、地区行事への参加に当たっては、常に指導的な立場に立つことを目指すことこそ、レ大の教えに沿うものと自負しています。

6月には生活学科卒業生の計画、指導により地域の子供たちへのプレゼント作りと昼食を兼ねたおやつを作りました。



▲講師の説明を熱心に聞き入る陶芸コースの会員たち

秋の「文化祭」の出展準備に忙しい文芸コースの人たち ▶



次回当番の「陶芸コース」、その次の「文芸コース」とも秋の「文化祭」の出展作品を考えることにしています。秋はスポーツ、美術と目白押しの行事で忙しくなりそう、うれしい悲鳴です。

年末は「園芸コース」の当番で「寄せ植え」、

「おせち料理」を予定しています。

いつの時も「やって下さい」「来て下さい」の人任せではなく、皆で「話し合い」「やり合い」ながら、もの作りを楽しむ「大学院」であり続けたいと思っています。

今一つ、OB会の新しい活動として「安土文芸の里」の花一杯運動に応募したことです。「信長の館」の正面にある直径1米の大プランタをいつも花を咲かせて管理する仕事です。

最初はたかが花植えと軽く考えていたが、花は決して一人では咲きも育ちもしてくれません。「もの言わずして、目に、ものを見せてくれる」のが花作りと教わる次第です。

園芸科卒業の私も昨今のカタカナの花の名は苦手で、しかも年中絶え間ない観光客の目を楽しませるのは大変ですが、会員の皆さん大変熱心で四季折々の花を咲かせて来客のご機嫌を伺っています。

お越しの節は、是非ご鑑賞くだされば幸いです。また、秋の「文化祭」は、年間の成果を一同に展示していますので合わせてご覧いただければ幸甚です。



▲正月用の「寄せ植え」を終え、その出来栄えにうっとり。園芸コースの会員たち

(文責：第6期 園芸学科 木俣信一)

## 湖東支部



成果展の風景



支部総会の後のアトラクションの handmade を演じる福原会員

### 平成15年度主要事業

日 時	項 目	事 業 内 容	項 目
5月12日	定期総会	会場 甲良町池寺 一休庵に於いて 議事 14年度 事業報告・決算報告 監査報告 15年度 事業計画・予算審議など 講演 講師 福原範彦氏 レイ大11期 園芸学科卒 「とっておきの話」と奇術披露 懇親会	出席者 40名
7月7日	会報発行	平成15年度第1号支部会報発行 A4版8頁	
9月23日	グランドゴルフ	荒神山グランドゴルフ場 本部大会出場者予選を兼ねる	35名
10月7日	歓迎会	新入会員歓迎会 会場 甲良町 一休庵 アトラクション 手作り紙芝居、ハーモニカ、キーボード、 三味線演奏等 レイ大OB会 グループ虹他	出席者 50名
10月 11～13日	成果展	湖東支部成果展 会場 秦荘町歴史文化資料館 作品 陶芸、盆栽、書、絵画、工芸、写真 出展数75点	出展者 63名
11月6日	史跡探訪	郷土の史跡探訪 醒ヶ井湧くわく街道散策、昼食後醒ヶ井養鱒場見学	出席者 22名

## 湖北支部

### 研修親睦の旅

恒例の「研修・親睦の旅」を10月24日に実施しました。行先は「なばなの里と徳川美術館」で参加者は51名でした。

なばなの里での昼食は地ビールで乾杯、さわやかな気分でペコニアガーデンへ入りました。一步踏み入れてびっくり、晩秋というのに百花繚乱色とりどりの花が咲き乱れています。花に酔い、人に酔い、ビールに酔って一同大満足でした。

徳川美術館では尾張徳川家に伝わる武具・能衣装・諸道具など重要文化財・重要美術品の数々が展示され、これらに表出された当時の人々の美意識を実感いたしました。

最高の行楽日和にも恵まれ、大変有意義な研修旅行の1日でした。



なばなの里のペコニアガーデンで美しい花を賞でる会員たち

### 湖北支部グラウンドゴルフ大会盛大に挙行

夜来の雨もあがり、空には日輪ギラギラと真夏の様相。

8月29日湖北支部同窓会挙げての一大イベントであるグラウンドゴルフ大会・会場である高月町河川敷ラブリーバー富永・参加人数90有余名。選手諸氏の熱気とパワーが満ち溢れ心地良い緊張感が漂う。

開会挨拶等セレモニーも無事終了。競技開始時刻は刻々と迫り選手の意気軒昂・広いグラウンドも狭く感じられる。

プレー開始その一打に精魂込めて球の行方を凝視する。願うはホールインワン。誰しも心の中で祈っているが思う様に球は転がらない。正に悲喜こもごも。適切な打撃でホールポストに入った時など腕の冴に喜色満面、ゲームに最高の醍醐味を味わう一時であります。一球一打に全神経を集中し眼光鋭くその容姿、名匠を凌ぐ一幅の絵画を彷彿させる。

熱戦漸く幕を閉じ成績発表。一喜一憂する。然し成績の如何を問わず参加者全員が全力投球、汗を流し協力し合って成し得たこの行事は脳裏にきざみこまれ末永く同窓会発展の伴侶となれば望外の喜びであります。

同窓会員としてのアイデンティティを堅持し、切磋琢磨、研鑽怠らず励まし合い唇齒輔車の関係よろしく前途の光明を信じ決意を新たにした次第です。



全神経を集中してホールをねらう会員

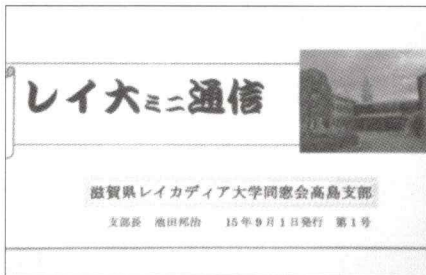
## 高島支部

### 支部総会

5月12日(月) 午前10時30分より高島町萩の浜の麒麟倶楽部にて。38名参加。総会后、和やかに懇親会。会費3,500円。



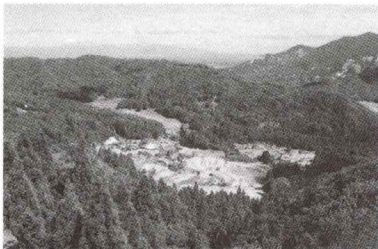
麒麟倶楽部



### 支部通信発行

9月1日に念願の支部通信「レイ大ミニ通信」を発行。A3紙裏表一枚、支部として初めての試みで年3～4回発行する予定。会員相互の連帯感が少しでも高められればと思っています。

1号は支部長挨拶、役員紹介、新会員紹介、行事案内、会員参加の呼びかけ等々。会員から大変好評。2号は秋の「一日研修について」を一面に。研修会参加を呼びかける。期待が大変大きいようである。ミニ通信が定着するようがんばりたいと思っています。



広域基幹林道より畑の棚田を望む

**一日研修会** 11月13日。高島郡朽木村方面へ。31名参加。会費2,000円。

高島駅を10時25分、町福祉バス、乗用車2台で出発。紅葉始まった山、溪谷、棚田、琵琶湖を眺望。運転手も初めてのトンネル（横谷ずい道）を出ると急傾斜の山道をそろりそろり。長三角形の杉の木の、規則正しい立林、本当に美しい景観にうっとり。朽木郷土資料館、朽木陣屋跡を見学。足利庭園・興聖寺を見学。朽木村てんくう温泉到着。一風呂浴びて懇親会。この10月に亡くなった二人の会員に黙祷。新会員4人の紹介。にぎやかに、和やかに、ビール、酒を交わし、話がはずみ、本当に楽しいひと時でした。懇親会を重ねる度にお互いに親しくなり気安く話し合えるようになったと思います。話はずきないが、最後に「レイカディア大学賛歌」を大合唱し、再会を約し帰途につきました。



朽木興聖寺本堂前にて

## グループ紹介

レイカディア大学を卒業後、いち早く在学中の学習を活かして活躍している会員は多くいます。同期の人だけでなく、新しい仲間と趣味や同好のつどいの輪を広めて楽しく過ごしている会員もいます。

今回はこれらの人達が入会している「グループ」や「会」を紹介します。あなたも顔を出してみても如何ですか。

### 【大津支部】

## グランドゴルフ レ大OB大津

連絡先：第19期・スポレク学科 大江 四郎  
☎ 077-552-0348

活動内容：グランドゴルフ同好会

会合：月2回 第2・第4金曜

会費：年1,000円

## 楽吟会

連絡先：第21期・生活学科 井上 栄  
☎ 077-534-2291

活動内容：詩吟の朗詠

会合：月2回

## ニュースポーツ

連絡先：第21期・生活学科 井上 栄  
☎ 077-534-2291

活動内容：紙バコ ペタンク

会合：不定期



【湖南支部】

陶芸同好会 山寺天井窯

連絡先：第20期・陶芸学科 三上 善弘  
☎ 077-563-4881

- ・会 員：レイカディア大学 20期、21期、22期、23期卒業生の36名
- ・講 師：レイカディア大学 16期卒業の先輩2名
- ・保有釜：穴窯、灯油窯、電気窯、楽窯
- ・作陶日：毎月 4回（隔週、木金曜日）
- ・作業日：毎月 2回（各自の体力に応じた仕事）
- ・会 費：月 1,000円
- ・場 所：草津市山寺町（草津川堤横）
- ・会員親睦：旅行は年2回、茶道研修、縫製研修、日曜大工、外部講師研修、バーベキュー（希望者の集いで好評）他
- ・ボランティア：身体障害者には全て無償の陶芸教室（アンコールで毎年実施）
- ・外部陶芸活動：子供会、婦人会、老人会対象（アンコールで毎年実施）
- ・天井窯の特徴：穴窯燃料の木材は会員で調達。時には、チェーンソーで山の樹木を伐採してトラックで運搬し、“木材割り”を致します。依って、焼成料金が一般の40%と格安。穴窯焼成は5昼夜連続で、みんな多様な病を持ちながら“老老”で“快快”時間を送っております。  
“笑う人には福が来る” “陶芸で 至幸至福の 笑い顔”



重い丸太運びも苦にせず頑張る女子会員



木材積み、木材運びのうまい元気な若初老

【守山・野洲支部】

私のレクリエーション・ボランティア活動について

連絡先：第20期・スポレク科 秋永 季次／第22期・スポレク科 黒田 玲子  
☎ 077-583-0371 (秋永) / ☎ 077-582-1702 (黒田)

ちょうど今から3年前、十数名の仲間とともにレクリエーション・ボランティアグループ「瞳会」を発足しました。以後、高齢者や障害のある方、あるいは自治会役員の皆さんに少しでもお役にたちたいという思いで活動致しております。



楽しいゲームで身も心もほぐれたひととき

私たちの活動は、市内の会館や福祉施設を訪問し、ご参加いただいた方々とともに、身体を動かしながら互いに交流を深め、楽しいひとときをコーディネートすることです。心身共に少しでも元気になっていただけるようお手伝いをするわけですから、何よりもご参加いただいたみなさんに、「楽しい」と感じていただくことが大切だと考えています。そのために、レクリエーションの内容は参加者にあわせ、ストレッチ要素を取り入れた体操を中心にしたたり、ダンスやゲーム感覚の運動をしたり、時にはクラフトや独自の替え歌を合唱したりとさまざまです。毎回最初は、「何が始まるのか」といった少し硬い表情のみなさんも、レクリエーションが進むにつれ表情が緩み、自然に笑いが出てくるようになると、場も盛り上がり私もいっそう力が入ります。身も心も開放された時、場はひとつにまとまり、熱いエネルギーを感じることができます。このすばらしい瞬間は、私の大きな喜びであり励みになります。

私自身、歳をとり、最近では声もかすれ、よく疲れるようになりました。しかし、体力の続く限り、少しでも多くの方々と交わっていければと願っています。そして新しい「元気メニュー」づくりのために、今日も図書館へ通います。

【近江八幡支部】

近江八幡観光ボランティアガイド協会

“レイ大卒業生13名が澆刺として活躍をしている”

連絡先：第11期・園芸学科 佐々木尚一

☎ 0748-32-5904



レイカディア卒業生によるガイド風景

私たちの町は天正13年（1585）関白豊臣秀次公によって開かれた城下町です。

築城時に設けられた八幡堀は琵琶湖に通じ交通の船便として大いに賑わいました。碁盤目状に区画された町並みには江戸時代初期から活躍した古い商家の家並みと共に白壁の土蔵が建ち並び、全国的に著名な近江商人の往時の隆盛の面影を偲ばせてくれます。郷土史料館や歴史民族資料館の他重文西川家居宅、八幡堀、白雲館、日牟礼八幡宮、かわらミュージアム等々、四季折々に変化を見せて郷愁を思わせる水郷めぐりの他にも数々の見処があります。

この町の自然風土と歴史文化を紹介し、ふるさとへの愛着と素朴さを理解してもらうことを主題にして「八幡へ来て良かった」「案内してもらって楽しかった」とお客様からの嬉しい言葉を頂けるよう、「心のもてなし」

を最上のお土産に、私たち会員はこれをモットーにして、平成4年3月「ふるさと観光塾」でご当地の観光のイロハを習得した40名を構成員として、愛称を「てんびんガイド」と名乗り、湖色のカラーを制服に颯爽として、発足して以来すでに10余年が経過しました。その間常に総意を結集して研鑽を重ねて参りました。

初年度は3,500百余名の案内客数も、観光地としての知名度の高まりと共に年々増加しており、近年の長引く不況の影響にて行楽客の落ち込みが心配された中で、観光環境の整備と施設の拡充による各種のPR効果が浸透して、年間50万人程の観光客が来訪されており、昨年度は案内客数23,000人、件数600、ガイド出場延人数が1,000人となり、飛躍的な盛況に嬉しい悲鳴を挙げています。県の肝煎りで淡海観光ボランティアガイド連絡協議会が結成され、現在各観光地区からの23団体、500名近い会員数により、交流研修会、会報の編集等によって湖国の観光資源の啓発に更なる努力を重ねております。

なお、毎年観光ボランティアガイドの全国大会が著名観光地の主催で、昨年別府に続いて今年は熱海で開催され、全国から500団体、800人のガイドが一堂に集まり、PRを兼ねた各地の活動状況と意見交換が活発に披露され、今回も18名が参加して、地域のふれあいと人との交流を深める事が出来ました。「ふるさと再発見」を課題に毎年「ふるさと観光塾」を開催して、多数の参加者にガイド活動の認識と共に、ふるさとの素晴らしさを理解されて、愛着を深めてもらい好評を受けています。現在会員は男性16名、女性24名が活動中にて、85歳の老会員も頑張っています。なお、毎月一回の全体会議により、情報交換と運営の活性化を主題に研鑽を重ねながら親睦を深めております。年2回「てんびんガイドだより」が発足と共に刊行が続けられており、会員の啓発に役立っています。

特筆として、レイカディア大学の卒業生13名が現在協会の中核となって活躍しており、大学での体験を活用して、地域の貢献に健闘することを期待されております。(文責 第11期・園芸学科 佐々木尚一)

### 【中部支部】

## 陶芸グループ

連絡先：第16期・陶芸学科 若井 正次

☎ 0748-58-0945



陶芸教室で指導する若井先生（中央）

平成7年9月に、レ大を卒業して即同窓会に入会してから、早くも8年が過ぎました。今ここでふり返りたいと思ひ筆をとりました。

私達の町には、老人クラブ連合会に陶芸教室を設置して会員の健康と生き甲斐の為に大いに利用して居ります。

教室では2年間専門の先生に教えられたことを仲間の皆さんに話しながら、作陶から焼成迄がんばって居ります。

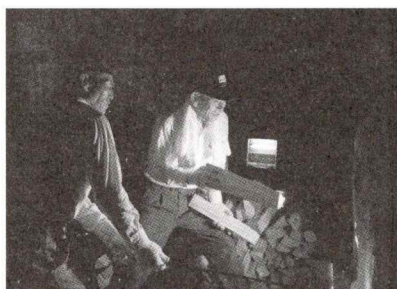
また、山梨県の竜王町と私達の竜王町が、姉妹提携をしておりますので、文化祭を通してお互いに作品を交流しております。

なお、当町には2ヶ所に幼稚園があり、園児が進級する時の記念に皿に手型を押して、焼き上げ返してあげます。保護者の方から大変喜ばれています。それから町主催のイベント会場へ作品の展示等して、町民の皆様からも喜ばれています。

当教室には老人会員だけでなく、中年の女性やサラリーマンの方達も一緒に勉強しています。若い人達は上達が早く初めのうちはいろいろと教える所がありましたが、最近では技術の上達が早くいつの間にか追い抜かれて恥ずかしいことこの上なしの状態です。でも何とか理由づけして逃げの一手です。

楽しみながら打ち込めることが出来て健康で居られるのもこの教室のお陰と喜びながら毎日を過ごして居ります。今振り返ると何とよい勉強を、税金のお陰でさせてもらったと感謝して日々暮らして居ります。

いつ迄もこの状態が続くことを願いながら筆を止めます。



暑さにもめげず焼き上がりを楽しみに昼夜のマキ入れ

### 【湖東支部】

## レイ大スポレク金亀会

連絡先：第15期・スポレク学科 小林 龍男

☎ 0749-28-0131

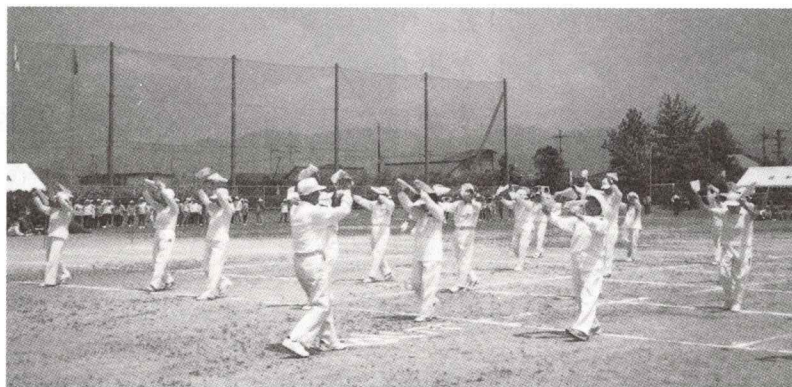
平成6年1月：スポレク愛好者10余名がフォークダンス、レクダンスの復習会を新年会をかねて開催。その際恒久的に復習会を続けることを申し合わせた。

平成6年5月：小林龍男一五期生が彦根市老ク連会長正田茂松氏に女性会員を対象として「寝たきり予防と痴呆予防」を目的に、フォークダンス参加を呼びかけて貰う。各学区へダンスの指導に出向して練習して貰った。老ク連大会当日女性部員200名程度参加して見事なダンスを披露。その後毎年大会の名物になる。

平成8年1月：スポレクOB会「金亀会」発足

平成15年現在：小林世話人の運営で、自由な組織として会員40名を擁するクラブになった。各地区老人クラブ、健康レククラブへの指導、市民運動会へ出演、老人ホームへの慰問など幅広く活躍。

高齢化時代に軽スポーツを普及し、寝たきり防止をモットーに今後とも活動が続ける。



彦根市老ク連大会においてレク体操の披露風景

## グループ紹介

### 【湖北支部】

きのもと フォークダンス・クラブ

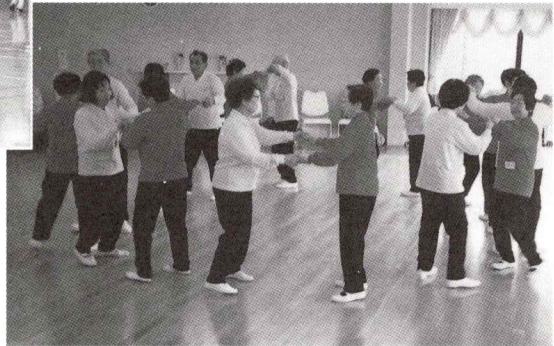
### ラ・サンテ

連絡先：第21期・スポレク学科 山岡 宏史

☎ 0748-82-3486



長浜市フォークダンスクラブとの交流会風景



小グループの練習の様子

木之本町内のレ大・スポ・レク科出身者8名が発起人になって、地域の高齢者に呼びかけ、平成13年4月に発足したクラブです。

高齢者の健康保持と仲間づくりを目指して毎月2回づつ楽しく練習に励んでいます。現在、会員数は74名、今も徐々に会員が増えつつあります。

近隣の市・町でも、スポ・レク出身者が中心になって、続々とフォークダンスのクラブが誕生していますが、その人達との交流会も積極的に行い親睦と交流の輪を広げて、地域の福祉活動に貢献しています。

【高島支部】

なご  
和みの会

連絡先：第20期・文芸学科 池田 邦治

☎ 0740-36-1126

レイ大の主に文芸学科卒業生で、短歌や俳句を学んだもので、昨年の秋結成されました。現在会員は高島町在住の6名で、奇数月の第4火曜日午後1時30分より2時間程度、楽しく、和やかに活動しています。作った短歌や俳句を持ち寄って感想や批評、添削したりしています。次ぎに最近の短歌・俳句を掲載します。

短歌

月光を浴びる歌友らそれぞれに 己が思いをよせいる宴  
名月はわれに光を浴びせつつ 流るる雲の間にぞ澄む

萬木 敏子

目を閉じてとおくに鳴ける鹿をきく 想いは千々の走馬灯なる  
名月は悠然として中空に 燠のごとき火星を従う

小林 鈴子

誰か呼ぶ声に踏みゆく真砂浜 朱も不気味な月昇りくる  
巡る季に忘れずに咲く彼岸花 鴨の小路に去年と同じく

上野 エミ子

父生まれし沖縄に惹かれその海に 抱かるごと弟急逝す  
一人逝きまた一人逝く身のめぐり 享年62歳の弟もまた

池田 邦治



和みの会メンバー（撮影者 池田）  
朽木村の陣屋跡で行く秋を惜しみ、久しぶりの再会を記念に。皆な若く美しいです。



足利庭園を吟行  
紅葉の美しい庭園を巡り一首、一句できました？

俳句

文豪のサロンの庭や小鳥来る  
鈴の緒の少しの汚れ神の留守  
こぼれ萩古刹の磴の一步より  
何読むとなくて夜長の眼鏡拭く

八田 キヨミ

松下 芳子



# 滋賀県レイカディア大学同窓会会則

## 第一条 (名称)

本会は、滋賀県レイカディア大学同窓会と称する。

## 第二条 (会員)

本会は、滋賀県老人大学校および滋賀県レイカディア大学の卒業生をもつて組織する。

## 第三条 (事務所)

本会の事務所は、滋賀県レイカディア大学本部内に置く。

## 第四条 (目的)

本会は、会員相互の親睦を図るとともに地域活動に積極的に参加協力し、併せて母校の発展に寄与することを目的とする。

## 第五条 (事業)

本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 一、定期総会および臨時総会の開催
- 二、母校の活動に対する援助協力
- 三、調査、研修に関する事項
- 四、会報の発刊に関する事項
- 五、功労者の表彰
- 六、慶弔の実施
- 七、その他必要と認められた事項

## 第六条 (部の設置および分掌事項)

前条の事業を行うため次の部を設け分掌事項を定める。

### 一、総務部

(一) 定期総会および臨時総会に関する事項

(二) 功労者の表彰の具申、慶弔の実施

(三) その他、他の部にも属さない事項

### 二、研修部

研修事業の策定および実施

### 三、広報部

会報等の編集、発刊に関する事項

## 第七条 (支部とその区域)

本会には次のとおり支部を設け、その区域は次のとおりとする。

支部名	区域
支部	区域
大津支部	大津市、滋賀郡各全域
湖南支部	草津市、栗東市各全域
守山・野洲支部	守山市、野洲郡各全域
甲賀支部	甲賀郡全域
近江八幡支部	近江八幡全域
中部支部	蒲生郡、八日市市、神崎郡各全域
湖東支部	彦根市、愛知郡、犬上郡各全域
湖北支部	長浜市、坂田郡、東浅井郡、伊香郡各全域
高島支部	高島郡全域

二、支部は支部規定を自主的に定める。

## 第八条（役員構成、選出、任務および任期）

本会は、次の役員をもつて構成する。

- 一、会長 一名
  - 二、副会長 二名
  - 三、理事 各支部より三名
  - 四、常任理事 理事のうち各支部長とする。
  - 五、事務局長 一名
  - 六、会計 一名
  - 七、幹事 若干名
  - 八、監事 二名
- 二、役員を選出は、次による。
- (一) 会長、副会長および監事は、会員より理事会において選出し、総会の承認を得るものとする。
  - (二) 常任理事および理事は、各支部より選出する。
  - (三) 事務局長および会計は、会員より常任理事会において選出する。
  - (四) 幹事には、滋賀県社会福祉協議会のレイカディア大学担当に就任を依頼する。
- 三、役員の仕事は、次による。
- (一) 会長は、本会を代表する。
  - (二) 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する。

(三) 各理事は、本会の必要事項の運営に当る。

(四) 事務局長は、本会の庶務事項を処理する。

(五) 会計は、本会の会計事務の処理に当る。

(六) 幹事には、適宜理事会への出席を要請し、本会の運営に關し助言を受けることが出来る。

(七) 監事は、会務および会計処理を監査する。

四、役員任期は、二年とする。但し、再任を妨げない。

補欠により選任された者の任期は、前任者の残存期間とする。

## 第九条（総会および臨時総会）

一、定期総会は年一回、会長がこれを召集する。

臨時総会は、必要に応じ役員会の議を得て会長がこれを召集する。

二、定期総会および臨時総会の議長は、出席会員の中より選出する。

三、議事は、出席会員の過半数により決定する。但し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

## 第一〇条（総会への付議事項）

総会に付議する事項は、次のとおりとする。

- 一、会則の制定、改廃
- 二、前年度事業報告および決算報告
- 三、本年度の事業計画および予算案

四、その他役員会において必要と認めた事項

### 第二一条（役員会）

- 一、役員会は、会長が必要と認めたととき適宜これを開催する。
- 二、理事会は、総会に付議する事項のほか、本会の重要事項を審議する。

三、常任理事会は、必要の都度本会の運営に関する事項について審議する。

### 第二二条（顧問および評議員）

一、顧問は、本会役員経験者（長老）とし、会長が就任を依頼する。

二、評議員は、大学当局より在校生各校二名の選出を受け、就任を依頼する。

三、顧問および評議員には、必要の都度、役員会への出席を要請し、本会の運営に関する助言を受けることが出来る。

### 第二三条（経費）

本会の経費は、次の年会費および寄付金その他の収入をもって賄う。

一、年会費は、別に定めるものとする。但し、すでに終身会費を納付した者を除く。

二、寄付金およびその他の収入。

### 第二四条（会計年度と決算）

一、本会の会計年度は、毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日

に終わる。

二、年度終了後、収支を明らかにした決算を作成し、監事の監査を受け、総会に報告しなければならない。

### 第二五条（慶弔）

次により慶弔を行う。

一、会員が数えて、米寿および白寿を迎えたとき、予算の範囲内で記念品を贈呈する。

二、会員が死亡したとき、弔意を表す。

### 第二六条（表彰）

会員の表彰は、別に定める規定に基づき行うものとする。

### 付則

一、この会則は、平成七年四月一日より適用する。

二、この会則は、平成八年四月一日より一部改定する。

三、この会則は、平成八年五月一日より一部改定施行する。

四、この会則は、平成一〇年六月一日より一部改定施行する。

五、この会則は、平成一一年六月九日より一部改定施行する。

六、この会則は、平成一二年六月九日より一部改定施行する。

七、この会則は、平成一四年五月二一日より一部改定施行する。

八、この会則は、平成一五年五月一八日より一部改定施行する。

# 滋賀県レイカディア大学同窓会表彰規定

## 第一条（趣旨）

この表彰は、滋賀県レイカディア大学同窓会の発展向上に尽力し、その功績が顕著な者および団体に対して行うものである。

## 第二条（表彰の基準）

表彰は、次の各項のいずれかに該当し、引き続き会員として活躍が期待されるものとする。

- 一、地域社会において活動し、その功績が母校ならびに同窓会の名誉に大きく寄与したもの。
- 二、同窓会活動に積極的に参加し、その功績が特に顕著で他の模範となる者。
- 三、団体にあつては、その構成員が本会会員であること。

## 第三条（表彰の選考）

- 一、表彰の選考は、各支部長の推薦により同窓会長が行うものとする。
- 二、推薦にあたっては、別紙様式により申請するものとする。

## 第四条（表彰）

表彰は、定期総会において行い、表彰状ならびに記念品

を贈呈する。

## 付則

- 一、この規定は、平成二十一年六月九日から施行する。
- 二、この規定は、平成二十三年五月二日から一部改定のうち施行する。

インターネット  
ホームページ

# 「びわこシニアネット」への ご参加をお待ちしています!

「レイカディア振興部健康生きがい担当」

びわこシニアネットは、滋賀県内の中高年者・高齢者の方々が、生きがいづくりや仲間づくり、毎日の生活の楽しみ方などについて情報を持ち寄り、交流していただくための、インターネット上の広場です。

今までのレイカディアのホームページの全面改訂版として、今年9月1日に正式公開しました。レイカディア大学のコーナーも、授業の風景などを取り入れ、大学の雰囲気が伝わるようなページになるよう、充実を図っています。

このコーナーの中に「同窓会ニュース」があります。

同窓会員の皆様にも、会報の電子版として、また、日々のご活動の様子をお伝えいただく場として、積極的なご活用をお願いしたいと思います。

## ■ 運営は？

開設者は県です。運営は、滋賀県社会福祉協議会レイカディア振興部が担当し、情報収集やホームページの更新作業には、レイカディア大学の在校生、卒業生の方によるシニアネット草津ボランティア、彦根市の老人クラブ会員を中心とするシニアネット彦根ボランティアの皆さんが関わってくださっています。

## ■ 特色は？

今までのホームページとの大きな違いは、それぞれの方が、自分のパソコンから情報発信ができるしくみです。

「レイカディア大学卒業生と在校生の交流のひろば掲示板」「仲間づくり掲示板」など掲示板には、意見交換や集まりの連絡などの書き込みを自由にいただけます。

また、よいニュース、身近な話題がありましたら、ぜひ原稿をお送りください。ホームページに掲載させていただきます。

## ■ ホームページの開き方

ヤフーなどの検索で、「びわこシニアネット」と入力していただくと、すぐに出てきます。

URLは、<http://e-biwako.jp>です。「イーびわこ」または「エーびわこ」と覚えてください。

<http://www.e-biwako.jp/>



## 編集後記

私達が求めているもの、先ず健康、そして日々の生きがい、今年も余日少ない頃になりました。会員皆様のご協力で第二十号発行の運びとなりました。会報の目的の支部間の情報交換、同窓会活動の活性化として育ちつつあることは何よりの喜びです。

本年度は功労賞受賞者のプロフィール、および米寿の方の一言を頂きました。皆様それぞれに日々を大切に実践しておられる文に接し、高齢者の生き方のすべを教わりました。平常心の毎日でも少しの緊張感も大切、益々のご健斗をお祈りするものです。又各支部の動き、各グループの紹介をして頂き、同窓会活動の一助になればと思っております。

お忙しい中、原稿をいただきながら、紙面の都合上、一部割愛した方にはお詫びします。

これからも生涯学習、親睦の輪をいつまでもと願っております。

終わりに寄稿いただきました会員皆様はじめ関係各位のご協力に感謝いたしますと共に、皆様様のご健勝を切にお祈り申し上げます。

## 会報 第二十号 編集委員

広報部長 増尾 一雄 (大津支部)

広報部員 宇野 愛子 (湖南支部)

〃 東出 昌子 (守山・野洲支部)

〃 松本 秀一 (甲賀支部)

〃 石部 隆治 (近江八幡支部)

〃 金山 准治 (中部支部)

〃 森野 久章 (湖東支部)

〃 中川 志げ子 (湖北支部)

〃 熊地 三治郎 (高島支部)

**滋賀県レイカディア大学同窓会  
会報20号**

発行：平成15年12月

編集：滋賀県レイカディア大学同窓会  
同窓会事務局

〒520-0072

草津市笠山7丁目8-138

(滋賀県レイカディア大学本部)

印刷：大津紙業写真印刷株式会社

